

各位

会社名 株式会社シーエーシー
 代表者名 代表取締役社長 島田俊夫
 (証券コード 4725 東証1部)
 問合せ先 取締役兼執行役員 酒匂明彦
 責任者 経営統括本部長
 (電話 03-6667-8000)

平成17年12月期決算における特別損益計上と業績予想修正のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり平成17年12月期決算で特別損益を計上するとともに、平成17年8月9日に公表した平成17年12月期の通期業績予想を修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損益の内容

(1) 特別利益

(単位:百万円)

	連結	単体
関係会社株式売却益	6,958	7,846
その他	19	32
合計	6,977	7,878

(注)関係会社株式売却益の主なものは、(株)アイ・エックス・アイの株式売却益です。

(2) 特別損失

(単位:百万円)

	連結	単体
関係会社株式売却損	144	160
関係会社株式評価損	-	260
連結調整勘定償却費	244	-
投資有価証券評価損	154	154
事業基盤整備関連費用	769	769
受注損失引当金繰入額	503	503
その他	84	49
合計	1,899	1,897

(第4四半期に発生した主な特別損失)

事業基盤整備関連費用

平成17年8月9日公表の通期業績予想にて特別損失に計上見込みとお知らせしていた事業所統合費用を含め、業務が効率的かつ有効に遂行されるための事業基盤整備に要する一時的な費用として769百万円を計上いたします。

関係会社株式評価損

連結子会社である(株)シーエーシーナレッジについて、同社の将来の収益計画を勘案し、投資簿価のうち回収不能と見込まれる金額を減損処理することとしました。これにより、単体において関係会

社株式評価損 251 百万円を、連結において連結調整勘定償却費 244 百万円を計上する予定です。

受注損失引当金繰入額

平成 18 年 12 月期に継続する複数のシステム開発案件について、想定した作業量を大幅に上回ることが判明したため、損失額について合理的に見積もることが可能な金額を受注損失引当金に計上し、平成 17 年 12 月期の損失として処理することといたしました。

当該案件につきましては、設計終了段階で制作工数が当初見積を大幅に上回ることが判明、これに対応して体制を強化したため、大幅な原価増となる見込みです。工数超過の主な原因は、短納期開発における見積が不十分であったことにあるため、再発防止のため、短納期開発における見積手法の見直しを実施中です。

2. 業績予想の修正

(1) 平成 17 年 12 月期通期業績予想の修正(平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)

【連結】

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	53,000	3,700	4,600
今回修正予想 (B)	52,200	3,700	4,300
増減額 (B - A)	800	-	300
増減率	1.5%	-	6.5%
(ご参考) 前期実績	50,714	2,397	784

【単体】

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	32,000	2,300	5,200
今回修正予想 (B)	30,500	2,300	4,800
増減額 (B - A)	1,500	-	400
増減率	4.7%	-	7.7%
(ご参考) 前期実績	30,036	1,235	567

(2) 修正の理由

当期純利益につきましては、特別損益における当初見込みとの差異により修正するものです。

単体の売上高につきましては、システム構築サービス、システム運用管理サービスともに計画未達となり、予想を下回る見通しです。連結の売上高につきましては、単体の計画未達により、予想を下回る見込みです。

以上